

世界史（2月1日）

1. 出題意図

出題にあたっては、高等学校で履修する「世界史」の範囲を逸脱することがないようにするとともに、その内容を幅広く出題するように配慮している。出題については以下のような形式を採用している。

- （1） 設問数は大問題を5題（Ⅰ～Ⅴ）とし、さらにそれぞれの小設問を8問とする。
- （2） 配点は大問題各30点、全5題で150点満点である。
- （3） 内容は、欧米（ラテンアメリカを含む）、東アジア、それ以外のアジア、オセアニア、アフリカといった世界の諸地域について、時代的には古代・中世・近代・現代の各時代がバランスよく取りあげられるように留意している。
- （4） 出題形式としては、大問題の最初に歴史的事象について論じたリード文を配し、その中に設けた空所を補充する問題（〔語群〕）および、下線が記された内容に関連した事項について問う問題（〔問い〕）という2種類からなる。

2. 解答（解答例）

〔Ⅰ〕							
イ	ロ	①	②	③	④	⑤	⑥
b	a	c	d	c	b	c	d
〔Ⅱ〕							
イ	ロ	①	②	③	④	⑤	⑥
c	b	c	b	d	a	b	a
〔Ⅲ〕							
イ	ロ	①	②	③	④	⑤	⑥
a	c	b	d	c	b	a	d
〔Ⅳ〕							
イ	ロ	①	②	③	④	⑤	⑥
c	b	b	a	a	c	d	d
〔Ⅴ〕							
イ	ロ	①	②	③	④	⑤	⑥
a	b	d	d	c	c	d	a